



凡 例

浸水深の目安

2階の屋根以上が浸かる程度 5.0m

2階の軒下まで浸かる程度 3.0m

おとなの膝まで浸かる程度 0.5m

河川区域

避難所

指定避難所安全度ランク ★★★★★

指定避難所安全度ランク ★★★★

指定避難所安全度ランク ★★★

指定避難所安全度ランク ★★

指定避難所安全度ランク ★

各避難所で最も階層の高い場所の安全度ランクを表しています。
各階の安全度についてはP155～158をご覧ください。

その他

高速自動車道	
有料道路	
国道	
主要地方道・一般県道	
市境界線	
市役所	
支所	
警察	
消防	
病院	
排水ポンプ場	
要配慮者利用施設	
水位観測所	
避難時要注意箇所(地下道等)	

※要配慮者利用施設をP159～164に掲載しています。

高潮ハザードマップについて

【留意事項】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)、浸水の継続時間(浸水継続時間)を2種類の図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である室戸台風級の台風により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を想定し、堤防等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、高潮シミュレーションを実施しています。
- この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドック等、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、主要な河川については、引上げの目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を固体化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸の建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- 確実な避難のために、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ、避難情報等を活用してください。

【用語の解説】

浸水域：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域
 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



